

出雲流庭園の石材 Q & A

庭園文化研究分科会 原 裕二

1. 今年度の活動状況

今年度の庭園文化研究分科会では、皆様のご協力やいろいろなご縁のおかげで有意義な活動を行うことができた。

- ・平成30年5月27日(日) 出雲文化伝承館 出雲流庭園講座(第1回)

「出雲流庭園の魅力」：武田隆司

- ・平成30年6月24日(日) 出雲文化伝承館 出雲流庭園講座(第2回)

「庭と屋敷」：宇野真一

- ・平成30年10月28日(日) 「出雲市周辺の古刹の庭」視察

その中で、講座に来られたお客様や視察に参加した会員から、石材について質問を受けることが大変多かった。

そこでうまく答えられたことや答えられなかった内容を取りまとめ、出雲流庭園と石材の関係について考察する。

2. この石は何？どこから持ってきたの？

最も多かった質問である。

出雲流庭園で見られる石材は、圧倒的に花崗岩類が多い。

出雲地方において花崗岩類は雲南・奥出雲、松江市南部、安来市の山間部で見られ、花崗閃緑岩と花崗岩に分けられる。これらの岩体は帯状あるいは塊状となって、中国山地を形成している。表1に両者の違いを示す。

石材の岩石名がわかれば、その産地はおおよその見当がつく。

一般参加者にうまく理解してもらえるように、以前「鉄師頭取の庭」について考察したことを踏まえ、大きく3つに分けて説明を行っている(原, 2017)。

(1)大東花崗閃緑岩

花崗閃緑岩は大東花崗閃緑岩に代表されるように、白っぽい岩肌である。均質な真砂にはならず、玉石状の硬質部分を残すことが特徴である。暗青灰色の玉石状の捕獲岩を含むことが多い。

地表近くでも新鮮な露頭や未風化核岩が存在するため、これを採取して石材として利用しやすい。

三刀屋町三刀屋の三刀屋川沿いでは石切場が数箇所あり、かつては「三刀屋石」として出荷していた(島根県地学会創立30周年記念誌編集委員会, 2016、松浦ほか, 2005)。

また木次町や大東町、三刀屋町、仁多町の山間部では、山腹斜面を掘削して未風化核岩を取り出す小規模な石切場が各地で見られる。

これらのことから、灯籠や短冊石、沓脱ぎ石などの装飾用は新鮮な露頭で採取し、細かい加工を要しない庭石や石垣、石段などは各地の石切場から集めて利用したと考えられる。

表 1. 花崗閃緑岩と花崗岩の違い(松浦ほか, 2005)

	大東花崗閃緑岩	鶉花崗岩・横田花崗岩
珪素SiO ₂	多い	多い
長石	斜長石>アルカリ長石	アルカリ長石>斜長石
有色鉱物	角閃石、黒雲母	黒雲母
色	白っぽい(斜長石)	赤っぽい(アルカリ長石)
粒度	中～粗粒	粗粒
岩相	石英閃緑岩の暗色包有物を含む。縞模様が見られることがある。	ほぼ均質
風化状況	均質な真砂にはならず、玉石状の硬質な未風化部を残す。	ほぼ均質な真砂状
石材としての利用	硬質な未風化部を石材として利用された。墓石、土木用石材、庭石、灯籠など。	真砂を土木用として利用。自然石としては使うことができる。

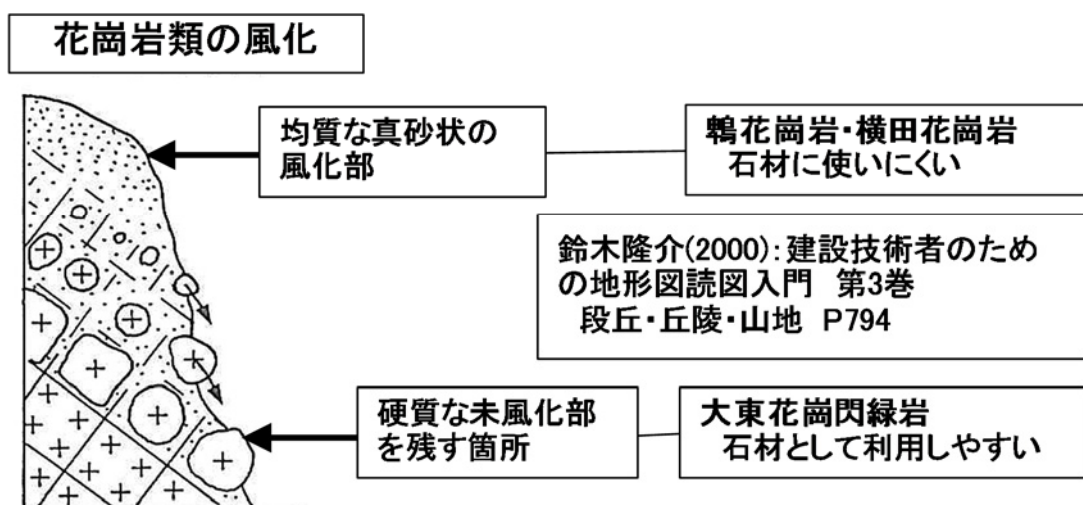




写真-1 出雲文化伝承館の飛び石



写真-2 大東花崗閃緑岩



写真-3 三刀屋町三刀屋川
沿いの石切場跡



写真-4 木次町寺領で見ら
れる小規模な石切場跡

(2) 鶇（ひよどり）花崗岩・横田花崗岩

花崗岩は、深層まで真砂状となっている。

黒雲母やアルカリ長石が粘土鉱物に変化したり、鉄分の酸化が進んだりして、全体にやや赤っぽい。

均質に風化が進行するため、表層に玉石や未風化核岩はあまり見られない。

よって加工用として使える石材を得ることは難しく、主に庭石や山灯籠などの自然石として利用される。まれに花崗岩の見事な灯籠を目にするが、広島県(尾道周辺)からの輸入品である可能性が高い。

たとえば、絲原家や櫻井家の庭園は、横田花崗岩が分布する地域にある。沓脱

ぎ石や短冊石、石垣などの加工品は大東花崗閃緑岩を使い、飛び石や庭石は横田花崗岩の川石を用いている。

なお、花崗岩が風化した赤褐色の敷砂は、かつて大変貴重なものとして大切に使用された。近年は河川からの採取が規制されたため、粘土分の少ない良質な砂の産出が減少し、大東花崗閃緑岩の白っぽい砂に取って代わられている(小口ほか, 1975、島根県地質図説明書編集委員会, 1985)。

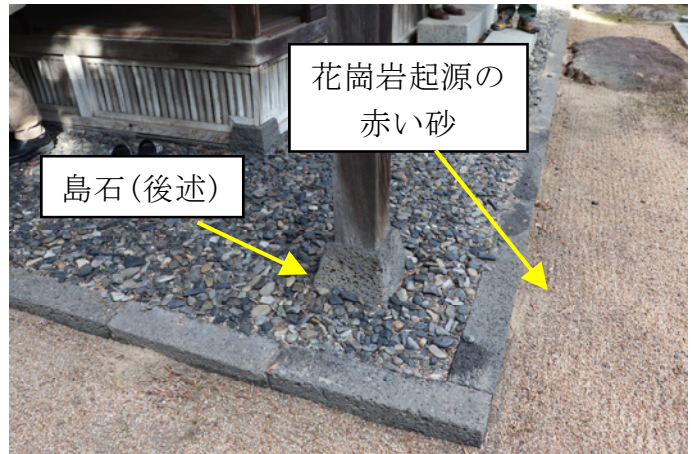


写真-6 斐川町出雲流庭園の敷砂
赤っぽい。花崗岩起源の砂。

写真-5 斐川町出雲流庭園の灯籠
尾道周辺の花崗岩の可能性



写真-7 松江市明明庵の飛び石
(鶴)花崗岩が主体。

写真-8 絲原家庭園の飛び石
横田花崗岩と思われる。



(3)その他の岩石

出雲流庭園では花崗岩類だけでなく、来待石を始めとして近隣でとれた石材が多く用いられている。

そこで今年度の視察で見られたユニークな石材を紹介する。島石(大根島玄武岩)については、次の章で詳しく述べる。



写真-9 出雲市願楽寺(がんぎょうじ)
珪化木(木の化石) 第三紀層山地でまれに見つかることがある。



写真-10 願楽寺 砂岩頁岩互層
島根半島海岸部で見られる。木綿街道
石橋邸や一畑寺などでも使われている。



写真-12 斐川町出雲流庭園 砂岩
タフォニ(化学的風化作用)



写真-11 願楽寺 流紋岩
六角形の柱状節理と思われる。



写真-13 斐川町出雲流庭園
頁岩(けつがん)島根半島で産出

3. この石はうちにもあるけど・・・島石

出雲文化伝承館や一般の出雲流庭園では、島石を頻繁に見かける。講座の参加者の中で、「これはうちにもあるけど・・・」という質問が数人の方から寄せられた。

島石の特徴は次のとおりである(鹿野ほか, 1994、島根県地質図説明書編集委員会, 1985)。

- ・大根島、江島に分布する大根島玄武岩(アルカリかんらん石玄武岩)。
- ・多孔質で、耐久性(耐火、耐寒性)に富む。 ・硬質だが、加工がしやすい。
- ・光沢に乏しく光を反射しない(派手でない)。 ・苔が付きやすい。
- ・灯籠、庭石、建築用材(基礎石)、石垣、石段などに用いられる。
- ・船によって運搬され、宍道湖、中海周辺ではよく使用されている。



写真-14 出雲文化伝承館の長屋門



写真-15 出雲文化伝承館の基礎石



写真-17 願楽寺 灯籠
平田町石工 平野孫市 作



写真-16 出雲文化伝承館 手水鉢



写真-18 斐川町出雲流庭園 沓脱ぎ石

4. どのようにして運んだの？

出雲流庭園で使用される花崗岩類の多くは、船で運ばれたと考えられる。現在のように道路事情がよくない上、陸上でt単位の重い石材を運べるような車両がなかなかないからである。

前述の三刀屋町石切場には、三刀屋川の中に船着き場だったと思われる露岩が残されている(島根県地学会創立 30 周年記念誌編集委員会, 2016)。

斐川町の江角家(現：出雲文化伝承館)までは、雲南の米や鉄、炭、木材などと同様に、三刀屋川から斐伊川を利用して運搬されたようである。

斐川町に入ってから、新川開削前であれば出西岩樋を通して高瀬川で、開削後なら南高瀬川あるいは北高瀬川で下流に至ることができる(長瀬, 1950、新建川改修事業完成記念史編纂委員会, 1985、原, 未公表)。

花崗岩類だけでなく、前述の島石や来待石、その他の石材も多くは船便に依っただろうと推測される。

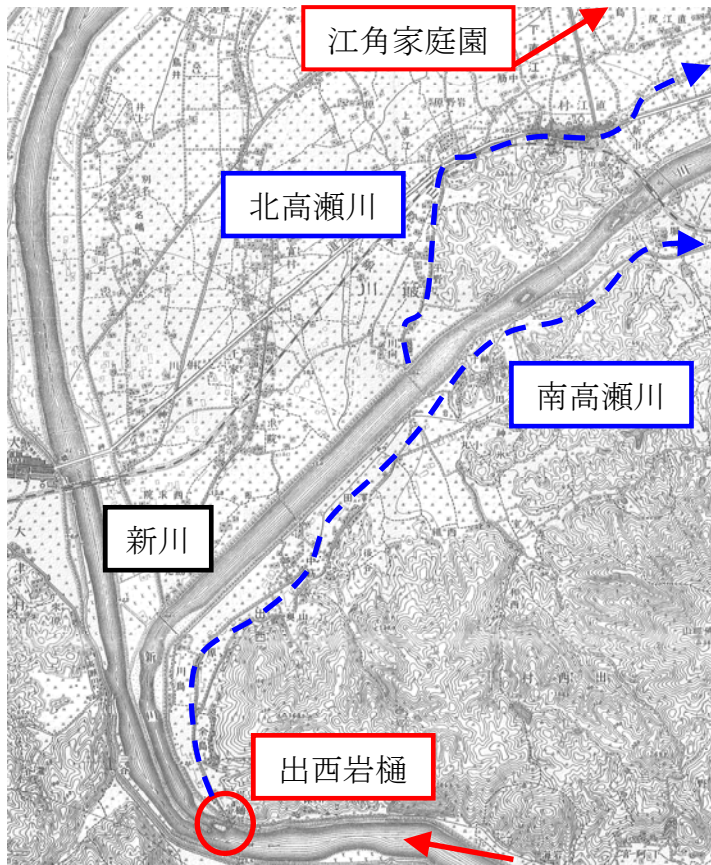


写真-19, 20 三刀屋町石切場跡
かつて船着き場だった露岩
(三刀屋川)

図-1 出西岩樋付近地形図
(大正7年今市一国土地理院)

5. 終わりに

これ以外にも様々な質問を受けたが、紙面の都合上、別の機会に紹介する。

日本庭園全国ランキングは、2016 年まで順位が発表されている(しおさいプロジェクト, 2016)。

このうち第1位から50位を都道府県別に集計すると、次のようになる。

1. 京都府 11件
2. 島根県 7件
3. 東京都 6件
4. 兵庫県、静岡県 3件
5. 宮城県、青森県、石川県 2件

京都府が第1位なのは当然である。しかし、日本の人口のわずか0.5%に過ぎない島根県に、7件も存在することは不思議でならない。

庭園文化研究分科会で活動する中で、その理由が地域の文化と歴史にあり、私たちの価値観とライフスタイルに根ざしているからだと思っている。

今後ともさらに出雲流庭園の調査を行い、その現状や魅力を伝えていきたい。

6. 参考文献

原裕二(2017)：平成28年度研究報告，島根県技術士会，51-56.

鹿野和彦・山内靖喜・松浦浩久・豊遙秋(1994)：松江地域の地質，地域地質研究報告(5万分の1地質図幅)，地質調査所，81-85，107.

松浦浩久・鹿野和彦・石塚吉浩・高木哲一(2005)：木次地域の地質．地域地質研究報告(5万分の1地質図幅)，地質調査総合センター，21-25，60-61.

長瀬定市(1950)：斐伊川史，出雲郷土誌刊行会，13-14.

小口基実・戸田芳樹(1975)：出雲流庭園，小口庭園グリーンエクステリア，33.

岡義重(1976)：郷土斐川物語，斐川町有線放送電話協会，8-10，15-17.

島根県地学会創立30周年記念誌編集委員会(2016)：島根の地形・景観・奇岩，(有)高浜印刷，56-57，67.

島根県地質図説明書編集委員会(1985)：島根県の地質，島根県，559-563.

新建川改修事業完成記念史編纂委員会(1985)：新建川改修事業完成記念誌，島根県，7-12.

しおさいプロジェクト：<http://gardenrankings.com/rankings/rankings-index.html>